

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会

SAITAMA BASKETBALL DEVELOPMENT LEAGUE

SBDL : 埼玉県バスケットボール育成リーグ



トーナメントの文化の育成年代へのデメリットの改善



①リーグ化により選手として経験の場の増加

補欠文化からの脱却→普及・育成

②リーグ化によりチームとして拮抗した試合数の増加

適正競技レベルでの経験値増加→育成

登録したすべての選手に経験の場を与えること。
チームとして拮抗した試合を増やすこと。



○リーグ戦の開催期間

AR (autumn round) 8月：準備期間 9月～11月：実施期間

WR(winter round) 12月：準備期間 1月～ 3月：実施期間

○所属リーグの決定 埼玉県バスケットボール協会U15部会にて決定する

○運営委員の決定

○運営委員を中心とした代表者会議

[各チームへの連絡方法]

・メール ・Line ・zoom、Google meet などのオンライン通話

○運営委員が対戦日程表を作成・伝達

○リーグ戦の実施

○全日程終了後、事後処理

・結果の報告 ・物品の返却 ・参加費等の振り込み



○**会場調整** ⇒ 各チーム会場取得日報告。駐車場、保護者観戦の可否も確認

(大会要項：各チーム大会期間中に会場を1日以上提供することができる。)

○**日程調整** ⇒ 各チーム希望日を報告。対戦日程表を各チームに連絡

(原則マッチデーに実施する。)

○**提出物の確認** ⇒ 書類や支払いについて

○**役割分担の確認**

[各役割の内容]

- ・運営委員 → スケジュール策定、感染予防チェックシートの管理、結果報告、連絡調整
- ・競技担当 → 機材の準備・手配、スコアシートの準備・管理、選手・コーチのID確認
- ・審判担当 → 帯同審判の割り当て
- ・財務担当 → リーグ戦に関わる会計、配布物の管理
- ・会場担当 → 会場準備調整、感染症対策準備、駐車場の確認、安全管理

○**その他チーム事情の確認**

- ・地区リーグに関する柔軟な対応 (リバーシブルユニフォームでの参加等)

*** リーグ戦の運営・各種決定は運営委員だけがやるのではなく全員で行います。
レギュレーションを運営委員やリーグの判断で変更してはいけません。**



○要項に記載されている「マッチデー」を原則実施日とする。

*原則日曜日としているが、日程が不足する場合は、平日夜などの開催も可（期日までに事前承認が必要）

○[4チーム半日のスケジュールモデル]

時間	対戦	T.O	審判
8:00	開場・準備		
9:00	A — B	C	C D
10:30	C — D	A	A B
12:00	会場片付け・撤収		

○《実施の上での注意事項》

- ・試合のチームとT.O・審判のチームを必ず分けてください。
→公式戦なので、自チームの試合をしながら自チーム指導者が審判をするの事はできません。
- ・審判は基本的に帯同です。チーム内でライセンスを所持している人に必ずチーム帯同させてください。



○リーグ戦のレギュレーション



○1回戦総当たり制のリーグ戦

- ・1リーグあたり、最大8チーム～最小5チームの編成で行う。
- ・日本バスケットボール協会の競技規則に則って実施し、勝敗をつける。（勝点制）

勝ち・不戦勝... 2点 負け...1点 未実施... 0点（*計画していない場合）

不戦勝の扱い➡（計画したが実施できなかった場合。当日キャンセル等）

*引き分けはありません。3分間の延長戦を行い、必ず勝敗をつけてください。

○全ての試合が終了した後、順位を決定する。

- ・2チームの順位が並んだ場合、該当チーム間の勝敗で勝ったチームを上順位とする。
- ・3チーム以上の順位が並んだ場合、該当チーム間だけの試合の得失点→総得点の順で順位を決定する。



■リーグ化に伴う課題

①会場確保

各チーム会場確保のご協力をお願いします。

②審判確保

帯同審判、資格取得のご協力をお願いします。

③日程確保

事前に都合提出したマッチデーで実施する

すべての選手たちを支えたい。
だから、すべての大人で運営しましょう。
選手の方たちのために、力を貸してください。

